

平成30年8月7日（火）14時00分～16時00分

枚方市市民会館 3階 第3会議室

参 加 者	所 属
	枚方市民生委員児童委員協議会 会長
	枚方市老人クラブ連合会
	枚方市コミュニティ連絡協議会 幹事
	枚方市校区福祉委員会協議会 会長
	シルバー人材センター 総合事業担当者
	大阪高齢者生活協同組合 専務理事
	枚方市介護支援専門員連絡協議会 副会長
	枚方市デイサービス連絡協議会 会長
	枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会 会長
	枚方市特別養護老人ホーム施設長会 副会長
	枚方市訪問介護事業者会 会長
	枚方市社会福祉協議会
案 件 名	1. サービス事業等の実績報告について 2. 第2層協議体（元気づくり・地域づくり会議）の設置状況報告について 3. その他
決 定 事 項	10月か11月頃に各校区の活動情報の共有等を目的に活動内容に関して発表や意見交換を行うことで合意。
事 務 局	枚方市 長寿社会部 地域包括ケア推進課 枚方市高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）

発言者	内 容
司会 (地域包括ケア推進課)	それでは定刻となりましたので、平成30年度第1回第1層協議体を開催いたします。本日はご多用のなか、本会議にご出席くださいますこと誠にありがとうございます。本日、司会進行を担当させていただきます よろしくお願ひします。開催にあたり、地域包括ケア推進課課長より、挨拶させていただきます。
課長	日盛りの暑い中ご出席いただきましてありがとうございます。この場をお借りし、一言お礼を申し上げさせていただきます。6月18日の大阪北部地震、それに続く西日本豪雨、台風18号につきまして高齢者の方の安否確認や支援、避難所開設の支援など、これにつきまして、地域の方、介護事業所の方、高齢者サポートセンターの皆様方には、多大なご尽力をいただきましたことにこの場を借りて、お礼を申し上げたいと思います。今回、改めて、高齢者を取り巻くネットワークの大切さ、これがあって初めて、災害時などの非常時にも高齢者の方の命や生活が守られるということをつくづく実感致しました。今回の災害

課長	<p>で本市は、比較的大事には至らずに済んだものの、今後、どのように対応していけばよいのか、ネットワークからこぼれおちた高齢者をどのようにアウトリーチしていくかという課題も見えてきております。また、この会議をはじめとして、皆様方のご意見をお伺いしながら、そのような危機管理についても検討していきたいと思っておりますので今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>続きまして、本日の案件と、お手元の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の案件は3つありまして、1つ目がサービス事業等の実績報告について、2つ目が第2層協議体、元気づくり・地域づくり会議の状況報告について、3つ目がその他として、高齢者居場所づくり事業のアンケート結果及び設置状況についてご報告させていただきます。</p> <p>それでは、案件1の介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年度サービス事業等の実績報告について市より報告させていただきます。</p>
事務局説明	<p><b>資料1</b> 介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年度サービス事業等の実績報告について</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>続きまして、枚方市訪問介護事業者会が枚方市内における訪問介護事業所の運営状況の把握、ヘルパー確保における課題抽出を目的に枚方市内の事業所に対してアンケートを実施し、取りまとめられましたので報告して頂きます。よろしく願い致します。</p>
枚方市訪問介護事業者会	<p><b>参考資料</b> 大阪府枚方市2018年度（平成30年）介護保険法改正における訪問介護事業所の実態調査アンケート報告書</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>ありがとうございます。訪問介護事業者だけの問題ではなく施設やデイサービスなど、介護業界すべてにおいて人手不足になる中で、今後どうやって高齢者の生活を支えていくのかということを考えていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>枚方市訪問介護事業者会の報告及び市の報告に関して意見交換したいと思います。</p>
枚方市特別養護老人ホーム施設長会	<p>介護の人材に関しては、各施設単独で求人をかけていたとしても限界があるので、高齢者のための施設、思いを共有しているところが顔を合わせながら求人活動をしたほうが良いという意見から当会が発足した経緯があります。</p> <p>当会での人材確保の活動としては、ラポールひらかたで就職フェアを行っています。大阪府社会福祉協議会として年に2回、インテックス大阪・京セラドームで介護福祉就職フェアを実施しているものの年々新卒学生は減っている状況です。大阪府北部で京都と境目という地域である枚方で働いていきたいという人を確保するためにも枚方市内で就職フェアを行ったほうが良いとラポールひらかたでの就職フェアを実施しているものです。</p> <p>しかし、就職フェアではなかなか就職につながらないことも多く3年前からはハローワークと共同でバスツアーを開催し、働く場所を見てもらい、就職につなげていこうという取り組みを行っています。施設単体での求人は難しくなっており、また施設長会でも難しくなりつつあり、枚方市とも市全体の問題として共有し、福祉業界全体で人材確保をどのようにしていくかを考えていく必要があると考えます。また、枚方市においても外国人雇用が始まっているということが実態としてあります。</p>

<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>そうですね。今後は事業所や団体だけで考えていくのではなく、みんなで考えていく必要があると感じています。</p> <p>また、枚方市では介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」という。）で、研修を受けた高齢者などの新しい人材が福祉のサービスを担っていただければと、生活援助訪問事業を創設し、シルバー人材センターや大阪高齢者生協、ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点で事業を担っていただいています。</p> <p>他市ではヘルパーが緩和型サービスの提供を行っていることが多いです。枚方は独自の研修を受けた高齢者等がサービスを提供をしています。そのため、サービスのマッチングが難しいことも以前より聞いています。そのあたりはどうでしょうか。</p>
<p>シルバー人材センター</p>	<p>生活援助訪問事業で登録していただいている方は30名ほどですが、実際に活動していただいている方は3~4名です。20名以上に声をかけても、他の仕事をしている、遠いなどの理由で断られることが多いです。地域包括支援センターからお話を頂いてもサービス提供できないこともあります。</p> <p>また、今年度の5月の生活支援員養成研修の申込者数は38名でしたが、昨年度は60数名いたので半減しており、新しく登録していただく方も減少しているのが現状です。</p>
<p>大阪高齢者生活 協同組合</p>	<p>現在の生活支援員の登録は90名、稼働は30名。6月のサービス提供は49名で時間では164.5時間です。9割以上が掃除の依頼です。継続した経営を考えると、最低賃金の上昇や雇用保険、設備維持の経費等もあるので80~90件が最低ラインであり、それ以下であれば赤字経営となります。</p> <p>また、訪問介護に関しては、今後身体介護が中心になってくることを考えると専門スキルを上げて対応していく必要があります。そのためには、市も一緒になってスキル向上に向けて考えていく必要があると考えています。</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>生活支援員の減少に対しては、今年度中に生活支援員養成研修修了者全員を対象としたフォローアップ研修の実施を予定しています。</p> <p>今後、訪問介護は身体介護が中心になってくることを考えると、身体介護ができる訪問介護員の養成が必要であると思います。これは、事業所単独で考えていくのではなく、市や事業者会、各種連絡会等が協力していきたいと考えています。</p> <p>それでは、案件2に移りたいと思います。</p>
<p>事務局説明</p>	<p><a href="#">資料2-1</a> 元気づくり・地域づくり会議の設置状況</p> <p><a href="#">資料2-2</a> 元気づくり・地域づくりプロジェクトの地域課題・取り組みについて</p> <p><a href="#">資料2-3</a> 元気づくり・地域づくりコーディネーターアンケート集計結果について</p> <p><a href="#">資料2-4</a> 平成29年度元気づくり・地域づくりプロジェクト活動内容</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>今年度の10月か11月頃に各校区の活動情報の共有等を目的に活動内容に関して発表や意見交換をしたいと考えていますがいかがでしょうか。</p>
	<p>出席者全員異議なし。</p>

<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>異議がないようなので開催に向けた準備を進めていきたいと思います。また、その中でパネルディスカッション等があれば第1層協議体メンバーの皆様のご協力をお願いすることもあると思いますがご協力よろしく申し上げます。</p> <p>続きまして、地域の方で出席されている方にお尋ねしたいのですが、まず津田校区で取り組まれている福祉大学について具体的な取り組みについて少しお聞きしたいと思います。</p>
<p>枚方市 コミュニティ連絡協議会</p>	<p>福祉大学では校区福祉委員が中心で取り組んでいるので詳しい内容までは把握していませんが、できる限り高齢者の参加者を増やそうと福祉委員会と共同して企画をしていますが、なかなか難しいと感じています。また若い方に関しても自治会活動に参加してもらえない状況であり、これらが課題と考えています。</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>ありがとうございます。続きまして、菅原東校区で取り組まれています、コミュニティサロンにおける参加者及びグループ別の参加者を対象に皆勤賞を授与していると思いますが、その点についてお話をお聞きしたいと思います。</p>
<p>枚方市民生委員 児童委員協議会</p>	<p>菅原東校区では、コミュニティサロンにおける活動支援として、ラーメン体操や歌に合わせての体操などゲーム感覚で楽しくできる場所と考え実施しています。また、小さい時に経験したラジオ体操の皆勤賞など楽しかったことを取り入れようと、皆勤賞等も取り入れ参加者の皆様は喜ばれています。他にも、たくさんのブースがあるようなイベントでは、すべてのブースを回ってもらうために、イベントの最後に抽選会を行うなど工夫して実施しています。</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>ありがとうございます。続きまして樟葉南校区での取り組みとして、高齢者のリストを作成されたということですが具体的に教えて頂いてもよろしいでしょうか。</p>
<p>枚方市校区 福祉委員会協議会</p>	<p>樟葉南校区では、実態把握とニーズ調査を目的に、校区内全自治会が高齢者の調査とリストの作成に取り組み、自主防災会と共同して全世帯に家族構成調査を行っています。その中で管理を行うという活動です。また、何かあったときに誰に連絡を取ったらよいかなども把握しています。調査は同意をもとに行っており90%以上の同意を取っています。</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>それでは、次の案件のその他に移りたいと思います。その他として、高齢者居場所づくり事業のアンケート結果及び設置状況についてご報告させていただきます。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>参考資料 ・高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果（平成29年度）          ・高齢者居場所づくり事業 登録及び補助金交付申請の手引き          ・高齢者居場所づくり事業 登録一覧</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>何かご意見等はございますか。</p>
<p>枚方市校区 福祉委員会協議会</p>	<p>確認ですが、ゲートボール等の集まりは申請可能でしょうか。</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>高齢者居場所の要件を満たしていれば申請可能です。</p> <p>しかし、同じ校区ですでに2か所以上に補助金交付されている場合は、次回の第1層協議体にて皆様のご意見を頂きたいと思います。</p> <p>また、居場所の要件の改定に関しては広報にて周知していこうと考えております。</p>

枚方市通所・訪問 リハビリテーション 連絡協議会	はじめて来られている方もいるので、第1層協議体、第2層協議体の役割を整理して伝えて頂けますでしょうか。
司会 (地域包括ケア推進課)	<p>先ほどの案件2であったように、地域ごとで課題は見えてきています。これらの課題に対して市全体で必要な施策等に関して第1層協議体で意見交換しながら施策化に向けて具体的に進んで行きたいと思いますが、まだ取り組みが始まったばかりであり、当分の間は第1層協議体では情報共有していけたらと思っております。</p> <p>今後は、第1層協議体では、地域の課題に対して市全体で取り組んでいく方向性等を検討したいと思っておりますのでご協力お願いします。</p>
枚方市校区 福祉委員会協議会	意見が2点あります。1点目は、高齢者居場所づくりに関して、多い地域に補助金を交付しないということはおかしいと考えています。なぜならば、熱心に活動しているところはだめだということになるのではないのでしょうか。限定すること自体が良くないと思います。2点目は、居場所の運営費を市として考えるべきであると思います。
司会 (地域包括ケア推進課)	高齢者の居場所の数に関してですが、予算の関係で100か所としていますが、100か所でなければいけないということではないと考えています。また、先着順となっているので、高齢者居場所の少ない地域を先に進めていきたいと考えています。ランニングコストに関しては、アンケートにも入れさせていただいたが、さらに、居場所を見に行く等しながら考えていきたいと思えます。
枚方市老人クラブ 連合会	<p>超高齢社会になり、今後高齢者はどんどん増加してくることが分かっている。その中で自立を目指すことは重要ではあると思います。</p> <p>しかし、介護職の育成の重要性は変わらない。その中で、看護師の大学学部は増加してきているが介護の大学学部が減少している中においては、全ての対応に関して各団体で実施する時代は終わっていると思います。市等と共同して底上げしていくことが重要だと感じています。</p>
枚方市訪問 介護事業者会	介護福祉士の養成校に関して、11年間で33校が閉校しています。平成18年の入学者19,200人でしたが、平成28年には7,700人と6割も減っている状況です。求人者数はここ5年で1.8倍になり83,000人に急増しているが、実際就職する人は3割減少しています。この状況の中、高齢者はどんどん増えていっている。この状況を考えると人材育成等市と協力して進めていく必要があると考えています。
枚方市特別養護 老人ホーム施設長会	<p>介護の仕事のイメージは3Kとなっている状況。今の学生はどこを目指しているかと言うと看護師や理学療法士、作業療法士と思われます。介護福祉学部が減少し、医療系学部へと変わっている状況があります。</p> <p>また、親のイメージとして自分の子供が福祉学部を目指すことへの不安があることもあります。そのようなイメージが生まれないようにしていきたいが各団体が頑張っても限界があります。処遇改善加算だけでも限界を感じます。市等とタッグを組んで介護業界全体のイメージアップを図れないだろうかと考えています。</p>

司会 (地域包括ケア推進課)	<p>事業者、団体、市とそれぞれ単体で動くのではなく、みんな一緒に同じ方向を向いてひとつずつやっていくことが大切であると考えています。その中には、地域の協力も重要であると考えておりますので皆様のご協力をお願い致します。</p> <p>まだまだ皆様のお話をお伺いしたいところではございますが、そろそろお時間となりましたので、これで平成30年度第1回第1層協議体を終了いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
-------------------	--